

平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 矢 崎 雄 一 郎

(コード番号： 2191)

問 合 せ 先 取 締 役 CFO 小 塚 祥 吾

(電話：03-5937-2111)

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 9 月 21 日付「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益（関係会社株式売却益）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社の連結子会社であったバイオメディカ・ソリューション株式会社（以下「BMS」といいます。）の株式を平成 29 年 9 月 21 日付で同社へ譲渡いたしました。

これに伴い、第 3 四半期連結会計期間において特別利益を計上することになりました。また、下記のとおり減損損失を特別損失に計上することになりました。これに併せて、当該特別利益及び特別損失の計上並びに最近の事業環境の変化を踏まえ、平成 29 年 8 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益（関係会社株式売却益）の計上について

平成 29 年 9 月 21 日付「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益（関係会社株式売却益）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社が保有していた BMS の株式を同社へ譲渡することを決定し、同日付で譲渡が完了いたしました。これにより、第 3 四半期連結会計期間において、個別決算において 108 百万円の関係会社株式売却益を計上することになりました。一方で、連結決算においては、株式譲渡日までの BMS の利益剰余金等の金額を反映する処理を実施したところ 23 百万円の関係会社株式売却益を計上いたしました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社グループは、平成 29 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）において、医薬品事業における、がん治療用再生医療等製品として樹状細胞ワクチンの承認取得へ向けた開発活動を実施していくための設備投資について、再生医療等製品の承認取得まで長期間使用することを予定しており、この期間中に収益獲得の見込みがないことを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、投資時に減損処理を実施したため、第 1 四半期及び第 2 四半期に計上したものを合わせ、減損損失として 400 百万円を計上しております。

3. 業績予想値の修正

(1) 平成 29 年 12 月期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,370	百万円 △120	百万円 △150	百万円 △360	円 銭 △24.47
今回修正（B）	950	△200	△230	△600	△39.07
増減額（B－A）	△420	△80	△80	△240	—
増減率	△30.7%	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 12 月期）	1,801	△621	△667	△918	△65.65

(2) 修正の理由

第 3 四半期連結会計期間において、医療支援事業に属する BMS が当社の連結範囲の対象から除外される等により、売上高が前回予想を下回る見込みとなりました。それに伴い、営業利益、経常利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、関係会社株式売却益が発生するものの、段階利益が下振れたこと及び医薬品事業において、がん治療用再生医療等製品として樹状細胞ワクチンの承認取得に向けた設備投資コストが想定を上回ったことに伴い、減損損失の計上金額が増加したため、前回予想を下回る見込みとなりました。

以 上

（業績予想に関する注意事項）

本資料に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる可能性があります。